



えのしろ

平成 29 年 9 月 14 日

三重北小学校

校長 岡本雅代



No.6

学校目標 豊かな心を持ち、ともに学び合う子どもの育成

2学期がスタートしました ～「学び合い」～



2学期が始まって2週間が過ぎました。夏季休業中は、開放プールの監視や奉仕作業等、保護者の皆様には、大変お世話になりました。『教育は環境から』・・・私が若い頃に教えられた言葉です。きれいに整った環境で、心も整え、2学期も学習や運動に全力で取り組んでいきます。ありがとうございました。

さて、平成32年度から、新しい学習指導要領に沿った教育活動が始まります。(次年度より、移行期となります。)道徳が「特別な教科道徳」となったり、外国語が5年生・6年生で70時間、3年生・4年生が外国語活動として35時間となったり、社会の変化に伴って学校教育も大きく変化していきます。その新しい学習指導要領の中で核となるのが、『主体的対話的な、深い学び』です。新しい言葉のように聞こえますが、これまで本校が大切にして進めてきたことと全く同じものです。主体的な学びの土台は、『聴き合う関係』づくりです。本校では、これまで、どの学級も友達の言葉に耳を傾け、どんな思いもしっかりと受け止めていくことを大事にし、子ども達の『学び合う』姿を大切にした学習を進めてきました。「ちょっと分からないんだけど・・・」「どうしたらいいのかなあ」といった思いに寄り添っていくことで、どの子も落ち着いて安心できる教室空間を作ってきました。このような空間が、子ども達の主体的な学習へとつながっていくのです。また、隣の子と相談したり、グループで協力して考え合ったりする場面を授業の中で、多く取り入れています。低学年では、机を扇型に並べたり、隣の子の机をぐっと近づけたり、高学年では、4人組のグループの形にしたり・・・子ども達が聴き合い、支え合えるように机の配置も工夫しています。「これ、どうするの?」「僕は、こう思うけど・・・。あなたは?」そんな会話が自然に生まれ、温かい子ども同士の関係も築かれ、対話的な学習へとつながります。さらには、どの子も夢中になって取り組めるような学習課題の研究も進めてきました。子ども達が頭を突き合わせながら、一緒に考え、何とか課題を解決していこうとする姿を大切にした授業づくりを行ってきました。支え合いを通して生まれる深い学びです。

今後、三重北小学校では、『一人残らず全ての子に学びを補償する』ことをめざし、職員全員が共通理解の下、日々の取り組みを進めていきます。ご家庭でも、家庭学習等でご協力いただいているところですが、引き続き、ご支援をお願いいたします。



29年度 全国学力学習状況調査結果より

平成29年度の本校の「全国学力・学習状況調査」結果を簡単に紹介します。

※本年度の調査問題・解答は、文部科学省のホームページに掲載されています。



○ 三重北小学校の学力調査の結果からみられる特徴

本年度の本校の学力に関する調査は、算数・国語のA（主として「知識」に関する問題）、B（主として「活用」に関する問題）、ともに全国平均を上回り、特に、国語Bでは、好結果を得ています。

領域別でみると、

国語A・・・「話すこと・聞くこと」 国語B・・・「読むこと」
算数A・・・「量と測定」 算数B・・・「図形」

において、全国平均を大きく上回っていました。

○ 児童質問紙からみられる肯定的特徴（全国平均より高い数値項目）【全92項目：4段階評価】

≪ 1 当てはまる・2・3・4 当てはまらない ≫

【自分のことや学校生活に関すること】	1	2	3	4
友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる。	75.6%	24.4%	0.0%	0.0%
友達と話し合うとき、友達の考えを受け止めて、自分の考えを持つことができる。	56.1%	39.0%	4.9%	0.0%
学校で友達に会うのは楽しいと思う。	90.2%	9.8%	0.0%	0.0%
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。	61.0%	34.1%	4.9%	0.0%
先生は、授業やテキストで間違えたところなどを分かるまで教えてくれる。	73.2%	26.8%	0.0%	0.0%
学校の決まりを守っている。	70.7%	26.8%	2.4%	0.0%
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。	92.7%	7.3%	0.0%	0.0%
【学習に関すること】	1	2	3	4
5年生までに受けた授業では、示された課題に対して、自ら考え自分から取り組んだ。	36.6%	51.2%	9.8%	2.4%
5年生までに受けた授業では、友達と話し合う活動をよく行っていた。	68.3%	29.3%	2.4%	0.0%
5年生までに受けた授業では、グループで話し合い、発表する活動に取り組んだ。	53.7%	39.0%	4.9%	2.4%
5年生までに受けた授業で、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えを伝えていた。	41.5%	53.7%	2.4%	2.4%
5年生までに受けた道徳の時間で、考えを深めたり、学級で話し合ったりした。	48.8%	39.0%	9.8%	2.4%
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える。	58.5%	22.0%	14.6%	4.9%

児童質問紙の上記の項目で、全国平均を大きく上回っており、本校で大事にしている「聴き合う」関係づくりを基盤に置いた「学び合い」が、「全国学力・学習状況調査」での好成績に結びついていると考えられます。日々の授業を通して、子ども達一人一人が自信を高め、学習に意欲的に取り組んできた結果であると言えます。

しかしながら、「学校の授業以外の1日当たりの勉強時間」「土曜日や日曜日の勉強時間」「1日当たりの読書量」「地域・社会への関心」といった質問項目が、全国平均を下回っています。地域・社会への関心の低さは本校児童の大きな課題でもあり、今後、意識的に地域と関わる機会を増やしていきたいと考えています。子ども達のさらなる成長に向け、家庭でのご協力を宜しくお願いいたします。

避難訓練

